

平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	福井県立大学				
取 組 名 称	海と湖を舞台とするやる気触発プログラム				
取組学部等	生物資源学部・海洋生物資源学科				
申 請 区 分	教育方法の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A21070	申 請 の 形 態	単 独	取 組 期 間	3 年
申請の分類	体験活動	地域活性化		環境教育	
キーワード	やる気触発ミキサー, 地域活性化演習, 山・川・里・海関連学, 若狭総合地域学, ソーシャルキャピタルの構築				

<選定理由>

本取組は、海洋生物資源に恵まれた若狭地区という背景を生かし、学生がフィールドに出て主体的に地域を学習するプログラムとして評価できる。この取組では、これまで不十分だった総合的な問題解決型思考能力を持つ学生の育成に努め、社会が必要としている海洋生物資源の利用や保全に対応できる人材の養成を目的としており、意義のある取組である。また、「やる気触発ミキサー」など、アイディアとして斬新であり成果が期待される。

しかし、教育目的、目標は明確に示されているが、達成すべき学習成果に関する具体性、取組の実現性において不明瞭な部分がある。本取組を実施するにあたっては、この点について具体的な計画と準備を行い対応することを期待する。

取組の概要 (500-1000 字程度)

福井県立大学は2つのキャンパスに分かれているが、海洋生物資源学科(平成21年度より学部昇格の予定)のある若狭地域は、若狭グジや若狭ガレイをはじめとする豊富な海洋生物資源に恵まれている。また、三方五湖は純淡水から海水にまで湖ごとに移りかわるその環境の多様さに応じて豊富な魚種を育み、魚類の稀少個体群が生息するため、掛け替えのない環境を守るべき湖としてラムサール条約に登録されたところである。このような地域の本学科に対する期待は大きく、豊かな海や湖沼の幸の利用とその環境保全という地域ニーズに積極的に対応することが強く期待されている。

本事業では、このニーズに応えるべく、1)「やる気触発ミキサー」、2)「地域活性化演習」、3)「山・川・里・海連関学」および「若狭総合地域学」を用意し、その活動体験を通じて、自主・自立の精神と実践力と総合的な理解力をもつ学生、すなわち高い人間力をもつ学生を育み、その教育活動を通して地域活性化に貢献していくことが狙いである。

事業の具体的内容としては、

1) では、本取組と類似の実践体験を持つ他大学生や実社会で活躍している本学卒業生との交流の場を提供し、同世代と先輩との交流によって強い影響を与え、精神を活性状態へと移行させることを目的とする。

2) では、地域の人々との交流および本学の教員の専門的なアドバイスによる具体的な実践教育を提供し、地域で実施されている諸活動に学生を参加させる。若狭地域は全国的にも食育先進地域であるとともに、様々な住民主体の地域おこしや環境保護諸団体の活発な活動がある。学生は、密な人間関係と深い地域愛に支えられた活動の一端を担うことによって、やる気と実行力、人間力の向上が図られる。

3) では、学生に山、川、里、海は互いに連関していることを理解させた上で、若狭地域を俯瞰的かつ客観的に理解させるとともに、広い視野に立ち、自らが参加した具体的な活動の評価を行なわせる。プログラム終了時には実践の成果を総括し、発表し、地域に各種の提言をさせる。ここでは、プレゼンテーション能力および総合的な問題解決能力が開発される。

これらの取組は、本学科で現在行っている教育、すなわち水圏生物資源やその環境、さらにはその利用・加工および流通に至るまでの海洋生物資源に関する総合的専門教育のもう一方の車輪となる。修了生には地域活性推進者として修了認定証を発行し、就職時等にも社会的認知を受けられるようにする。本取組を契機に真の地域貢献に繋がる質の高いソーシャルキャピタルが構築されると考える。全ての内容は、明快な資料として保管され、HPなどを通して広く公開する。